

4 年下

ごんぎつね

横浜市立荏田南小学校 岸森 暁子






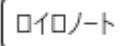
単元の特徴・付けたい力

本単元は、登場人物の気持ちが、豊かな情景描写によって表現されている。それぞれの場面ごとの登場人物の気持ちを想像するだけでなくとどまらず、物語全体を通じて複数の叙述を結び付けることで、ごんの気持ちの変化や、ごんと兵十の気持ちのすれ違いを読み味わわせたい。また、登場人物に対する自分なりの考えを友だちと共有し、一人ひとりの感じ方に違いがあることに気づかせたい。

ICT の活用について

デジタル教科書に線を引き、そこから考えうるごんや兵十の気持ちを付箋に書き出すことで、叙述をもとに想像する力をつけたい。また、考えた気持ちを友だちと共有することにより、自分の考えをさらに深めることにつなげたい。

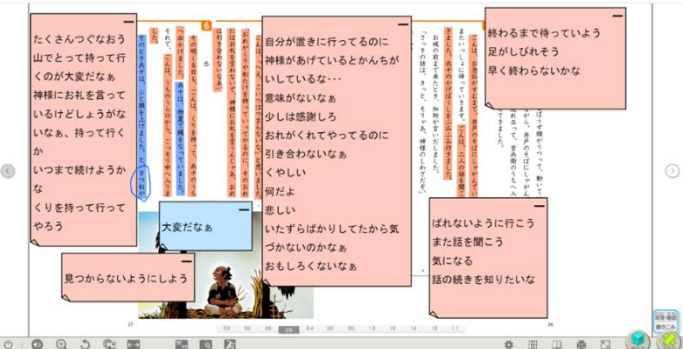
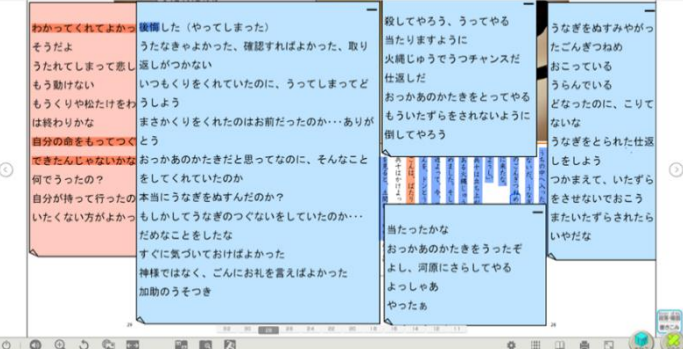
全時学習活動（全 11 時間）

時	主な学習活動	
1	「ごんぎつね」全文を読み、初発の感想をもつ。	音読  きく
2	漢字や語句の確認をする。 学習課題を設定し、学習計画を立てる。	 ワーク
3	全文を読み、ごんが兵十にしたことと、その時のごんの気持ちをまとめる。	 ふせん
★4～9	ごんが兵十にしたことと、その時のごんの気持ちを発表し、日記としてまとめる。	 ふせん
★10	ごんと兵十の気持ちの変化について考えたことをまとめ、話し合う。 詳しく読んでわかったことなどをもとに、初発の感想と比べてもう一度感想を書いて伝え合う。	 ふせん
11	新美南吉作品を読み、感想を交流する。	 ロイロノート

★4 時の指導計画例

<p>◇学習活動・指導上の留意点 ◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆児童の反応 □先生の感想</p>
<p><u>導入：前時をふり振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。</u></p> <p>◇ごんの気持ちの変化や性格、情景について、叙述をもとに考えるという学習内容を理解する。</p>	
<p><u>展開(1)：本文を読み、内容を確認する。</u></p> <p>①第1場面を音読する。 ◇第1場面を、ごんの行動や気持ちに気を付けながら音読する。</p> <p>②第1場面からごんの気持ちが表れているところを確認し、どのような気持ちが表れているか考えたことを発表する。 ◆デジタル教科書のごんの気持ちが表れている文章に線を引き、どのような気持ちが表れているか「ふせん」に書く。</p>   <p><u>展開(2)：読み取った気持ちからごんの日記を書く。</u></p> <p>③みんなで共有したごんの気持ちをもとに、第1場面のごんの日記を書く。 ◇日記を書くことによって、自分が捉えたごんの気持ちを整理する。</p> <p>④書いた日記を発表する。</p>	<p>◆早く読み終わったら、何度も読み返している。 □話の内容を理解しようと意欲的な児童が多い。</p> <p>◆友だちの意見でいいと思ったものをどんどん付け足している。テレビが見えにくい時には、見やすい位置まで出てきて内容を確認し、その後自分の「ふせん」に書き加えている。 □教師がどんどん書き加えていき、それをテレビに映していることによって児童も必要なところを選んで、自分のものに書き加えることができた。</p> <p>◆ごんになりきって日記を書いている。デジタル教科書を見返しながらノートに書いている。 □自分が考えていたことだけでなく、みんなの考えも書き込んだことにより、ごんの気持ちを深く考えることができた。</p>
<p><u>まとめ：学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</u></p>	<p>□最初は初めてのやり方に戸惑っているところもあったが、1時間通して行くことで、何をやればいいのかわかったようだった。</p>

★10 時の指導計画例

<p>◇学習活動・指導上の留意点 ◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆児童の反応 □先生の感想</p>
<p><u>導入：前時までをふり返り、本時の学習のめあてをつかむ。</u></p> <p>◇ごとと兵十の気持ちの変化についてまとめ、詳しく読んでわかったことなどをもとに、初発の感想と比べてもう一度感想を書いて伝え合う。</p>	
<p><u>展開(1)：本文を読み、内容を確認する。</u></p> <p>①第6場面のごんと兵十の気持ちを確認する。</p> <p>◆デジタル教科書で第6場面に書き込んだ「ふせん」の内容を確認する。</p>  <p>②第6場面の最後の文章「兵十は、火縄じゅうをばたりと取り落としました。青いけむりが、まだつつ口から細く出ていました。」という叙述をもとに、込められた意味を考える。</p> 	<p>□6時間分の蓄積があるので、それぞれの「ふせん」の内容が最初に比べるととても充実していた。</p> <p>◆なぜ「青いけむり」なのかということに着目し、これまで考えてきたごとや兵十の気持ちをもとに意見を出している。</p> <p>□けむりは普通は白いのに、なぜ青という色を使ったのかということをは話し合ってほしかったので、そこについてよく考えていた。やはり、これまで読み取りをしっかりとってきたことがよかったのだと思った。</p>
<p><u>展開(2)：初発の感想と比べてもう一度感想を書く。</u></p> <p>③詳しく読んでわかったことなどをもとに、初発の感想と比べてもう一度感想を書く。</p> <p>◆デジタル教科書や、自分が書いた初発の感想を読み返して、「ごんぎつね」を読んで感じたことを中心に感想をまとめる。</p> <p>④書いた日記をグループごとに共有する。</p>	<p>◆デジタル教科書で「ふせん」にまとめたことを読み返したり、ノートに書いた初発の感想を読み返したりして感想を書いている。</p> <p>□最初はごんの視点でしか書いていない児童が多かったが、どちらの気持ちもしっかり読み取ってきたので、兵十のことを考えたり、第三者的に俯瞰して物語を読んだりして感想をまとめていた。</p>
<p><u>まとめ：学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</u></p>	<p>□ずっと叙述をもとにごんや兵十の気持ちを考えてきたことで、これまで以上に物語を深く読むことができた。デジタル教科書を活用することにより、全文読みがとても楽しかった。</p>